

2013年度第1回材料研究会シンポジウムのご案内

超伝導を利用することで、これまでの常伝導物質では到達できなかった分野での検出技術の実現が期待できます。今回のシンポジウムでは、超伝導体を用いたセンシング技術について様々な分野から講師の先生方をお招きして、最新の技術動向について分かりやすくレビューしていただく機会を設けることといたしました。材料系の研究者にとってはもちろんですが、材料系以外の研究者にとっても、超伝導センシング技術について基礎から応用まで幅広く理解を深める貴重な機会になるものと期待しております。学生の皆さまも含め、多数のご出席をお待ちしております。

テーマ：超伝導体を用いたセンサー技術

日 時：2013年6月14日(金) 13:00～16:30

場 所：〒135-0062 東京都江東区東雲 1-10-13 超電導工学研究所大会議室

交通案内：下記の ISTECS ホームページの所在地・アクセス Map をご覧ください。

<http://www.istec.or.jp/istec/map&contact.html>

参加費（資料代）：2,000 円（どなたでも自由に参加できます）

プログラム

開会の挨拶	前田 敏彦（材料研究会委員長）	13:00～13:05
1. 液体水素液面計用 Al 添加 MgB ₂ 線材の開発	志村 聡（岩手東京ワイヤー製作所）	13:05～13:35
2. 金属資源電磁探査用 SQUID 磁力計の開発	波頭 経裕（ISTEC-SRL）	13:35～14:15
休 憩		
3. 先端計測分析機器の性能革新を実現する超伝導検出器	大久保 雅隆（産業技術総合研究所）	14:30～15:10
4. 超低温検出器で探る熱い宇宙	満田 和久（JAXA 宇宙科学研究所）	15:10～15:50
6. 見学会		15:50～16:30
閉 会		

オーガナイザー： 町 敬人（ISTEC-SRL）、一瀬 中（電力中央研究所）

問い合わせ先： 町 敬人（ISTEC-SRL） TEL：03-3536-5707, e-mail：machi@istec.or.jp